

令和7年度

学校要覧



山梨県立甲府支援学校

Kofu Special Needs Education School

〒400-0064 甲府市下飯田二丁目 10-3 電話 055(226)3322(代)
FAX 055(226)3323

<http://www.yogoy.kai.ed.jp/>



校 章

《校章の由来》

本校開校時に、校内道路にはブラタナスの並木があり、
そこから富士山を一望することができた。
校章はブラタナスと富士山を組み合わせデザインされた。



校 旗



校 舎

山梨県立甲府支援学校校歌

1966.1.25

安藤 莊一作詞
内田 義広補作
藤山 一郎作曲

mf *f* *mf*

1. み な み に ふ じ の や ま は る か
2. な が れ も き よ い あ ら か わ に
3. あ お ぐ も は れ て そ ら た か く

mf *f* *f*

う し ろ に や つ を あ お ぎ み る
う か ん だ か げ も う つ く し い る
し あ わ せ つ ね に み ち て い る

mf

1.2.3. ま な び や よ う ご わ が ぼ こ う

mf

あ か る い き ぼ う に む ね を は り い
こ こ ろ も か ら だ も す こ や か に つ
な ぐ さ め は げ ま し て を く ん で ゆ

f *f*

つ も た の し く ま な び ま す
よ く た だ し く す る び ま す
め を お お き く ひ ま す

山梨県立甲府支援学校々歌

安藤 莊一作詞
内田 義広補作
藤山 一郎作曲

一、南に富士の山はるか

うしろに八岳を仰ぎみる
学舎養護我が母校
明るい希望に胸を張り
いつも楽しく学びます

二、流れも清い荒川に

浮んだかげも美しい
学舎養護我が母校
心もからだもすこやかに
強く正しく進みます

三、青雲晴れて空高く

幸せつねにみちている
学舎養護我が母校
なぐさめはげまし手くんで
夢を大きくひろげます

目 次

1 設 立 の 趣 旨	1
2 沿 革	1
(1) 沿 革	1
(2) 歴 代 校 長	3
3 施 設 概 要	
(1)土地	3
(2)建物	3
(3)令和7年度校内配置図	4
4 学 校 運 営	5
(1) 職員構成	5
(2) 運営組織	5
(3) 教職員一覧	6
5 教 育 計 画	8
(1) グランドデザイン	8
(2) 学部目標及び学部指導重点	9
(3) 日課	10
6 各 学 部 の 状 況	12
(1) 学年別児童生徒数一覧	12
(2) コース編成	12
(3) 教育課程	13
(4) 学級編成及び児童生徒数(通学)	16
(5) 訪問学級	17
7 児 童 生 徒 の 概 況	19
(1) 病類別児童生徒数	19
(2) 居住地又は出身地別児童生徒数	19
(3) 児童生徒身辺自立状況	20
(4) 卒業生の動向(高等部訪問学級卒業生を含む)	21
8 寄 宿 舎	22
(1) 目 標 と 努 力 点	22
(2) 日課表	22
(3) 入舎児童生徒及び放課後利用児童生徒学部学年一覧	22
(4) 居住地又は出身地別児童生徒数	23
(5) 舎生会のねらい及び年間行事予定	23
9 P T A 及 び 同 窓 会 の 運 営 組 織	24
(1) P T A	24
(2) 同窓会	24
10 年 間 行 事 予 定	25

1 設 立 の 趣 旨

本校は、県内に居住する肢体不自由児童生徒に、小・中・高一貫性のある教育を行い、心身の調和的発達の基礎を培うとともに、社会的自立を図ることを趣旨とし、設立された。令和6年度より、新たに高等部に病弱部門が設立された。

2 沿 革

(1) 沿 革

昭和	34.	1. 25	甲府市羽黒町 1255 に山梨県立あけぼの学園（児童福祉法による肢体不自由児療育施設、医療と教育併行）が発足するに伴い、甲府市教委より教員2名派遣
	34.	4. 1	甲府市立北新小より3名、市立北中より2名派遣され、小1～2、3～4、5～6の複式、中1～3の複々式学級を編制し、北中及び北新小の分教室を開設
	35.	4. 1	小1～2、3～4の複式、5・6単式及び中1～2複式、3単式学級編制、教員7名この間100ベッドに増床、一方、中教審答申にそって、県立養護学校設置運動に着手 小中ともに複式学級解消
	36.	4. 1	学校設置予算通過
	37.	2.	甲府市下飯田の現在地に校地（5544㎡）を買収
	37.	11. 20	山梨県立養護学校を開校し、甲府市下飯田町975の県立盲学校内に小1～2、3～4、
	38.	4. 1	5～6、各複式学級発足、以後、あけぼの学園内の北中、北新小の分教室を山梨県立養護学校あけぼの分校と称す、この間、第1期工事着工
	38.	12. 2	甲府市下飯田町1010の現在地に本館が完成（851.4㎡）し、盲学校敷地内より移転、この日を創立記念日に制定
	39.	4. 1	中学部発足
	39.	6. 16	機能訓練室（216.00㎡）完成
	39.	9. 24	寄宿舍（716.1㎡）完成及び開舎
	40.	1. 13	スクールバス購入
	40.	2. 24	増築教室完成、この間、高等部設置運動開始
	41.	2. 1	竣工式・校旗樹立式、校歌制定式及び発表会挙行
	42.	2. 16	運動場用地（3960㎡）買収
	42.	3. 31	中学部第1回生卒業
	42.	4. 1	高等部設置、第1学年発足、但し、建築関係は6月県議会に予算提出
	42.	10. 25	高等部校舎着工
	43.	10. 18	関東甲信越地区肢体不自由教育研究協議会を本校において開催
	43.	10. 22	創立5周年記念、新校舎落成記念式典を挙行
	44.	10. 26	新運動場竣工
	44.	12. 11	寄宿舍用地買収
	45.	3. 31	高等部第1回生卒業
	47.	4. 1	県立中央病院に病弱学級を設置し、中央病院分校として教員2名、児童10名で発足
	48.	3. 25	寄宿舍4室増築及び寮母室・食堂の増改築完成
	48.	9. 25	校地（792㎡）買収
	48.	11. 13	創立10周年記念式典挙行
	49.	4. 1	甲府市羽黒町1255にあったあけぼの分校が、あけぼの医療福祉センターと併設方式をとり、山梨県立あけぼの養護学校として韮崎市旭町上条南割字外御勅使3313-1に分離移転独立
	50.	4. 1	山梨県立甲府養護学校と校名変更
	50.	8. 22	全国肢体不自由養護学校PTA連合会総会及びPTA・校長会合同研究大会山梨大会を開催（本校が幹事校）
	50.	11. 23	シンボルタワー除幕式挙行、同窓会10周年記念式典挙行
	53.	4. 1	53・54年度文部省特殊教育教育課程研究指定校
	54.	4. 1	養護学校義務制施行、訪問教育開始
	54.	11. 2	全国公開研究発表会実施

	56.	8.	7	校地（2427㎡）買収
	58.	3.	31	屋内運動場完成（851㎡）、養護・訓練棟の完成（1060㎡）
	59.	4.	1	中央病院分校は山梨県立富士見養護学校として、甲府市富士見一丁目1-1に分離独立 管理棟（南館1901.41㎡）完成
	59.	7.	31	創立20周年・校舎落成記念式典挙行
	59.	11.	10	文部省心身障害児適正就学推進研究指定校
	61.	4.	1	寄宿舍第1期改築工事完成
	63.	1.	31	寄宿舍第2期改築工事完成
平成	元	3.	31	新田小学校、敷島中学校、機山工業高等学校、盲学校との交流教育開始
	元	4.	1	寄宿舍第3期改築工事完成
	2.	3.	31	関東甲越地区肢体不自由教育研究協議会山梨大会を開催（本校が幹事校）
	2.	11.	21~22	プール落成。盲学校との交流教育終了
	3.	3.	31	関東甲越地区肢体不自由養護学校PTA連合会総会及びPTA・校長会合同研究協議会
	4.	7.	26~27	山梨大会を開催（本校が幹事校）
	4.	12.	24	制服改定（男女）
	5.	4.	1	池田小学校との交流教育開始
	5.	9.	6	文化交流会館起工式挙行
	6.	3.	23	創立30周年記念式典及び文化交流会館竣工式挙行
	6.	4.	1	富士吉田分校設置
	7.	4.	1	7・8年度文部省学校週5日制研究推進指定校
	8.	4.	1	富士吉田分校は山梨県立ふじざくら養護学校として、南都留郡河口湖畔船津6663-1に分離独立
	9.	6.	25	9年度県立学校コミュニティ・セミナー「合唱講座」開設
	10.	4.	1	高等部随時教育の試行開始
	11.	5.	1	ホームページ開設
	11.	10.	21~22	関東甲越地区肢体不自由教育研究協議会山梨大会を開催（本校が主管校）
	12.	4.	1	高等部随時教育の完全実施
	13.	4.	1	制服改定（男女）、学校評議員会設置
	13.	11.	26	学校目標制定
	14.	4.	1	学校教育目標改定、スクールバス2台での運行開始 医療的ケア支援体制モデル校実践的調査研究事業指定校
	16.	10.	8	創立40周年記念式典挙行
	17.	8.	21	寄宿舍・食堂（ひびき館）竣工
	19.	2.	28	南館、養訓棟外壁塗装完成
	19.	4.	1	「甲府支援学校」に校名変更
	19.	7.	30	北館・中館新校舎竣工
	19.	10.	11~12	関東甲越地区肢体不自由教育研究協議会山梨大会を開催（あけぼの支援学校が主管校）
	20.	3.	15	外構工事完成
	22.	7.	25~26	関東甲越地区肢体不自由特別支援学校PTA連合会総会及びPTA・校長会合同研究協議会山梨大会を開催（本校が主管校）
	24.	1.	21	山梨県教育委員会より「学校給食優良校」の表彰を受ける
	25.	10.	17~18	関東甲越地区肢体不自由教育研究協議会山梨大会を開催（あけぼの支援学校が主管校）
	26.	10.	11	創立50周年記念式典挙行
	26.	12.	11	創立50周年記念音楽会開催
	27.	1.	8	スクールバス3台での運行開始
	29.	3.	27	点字ブロック敷設工事完成
	29.	9.	4	多目的トイレ設置工事完成
	30.	3.	12	防災倉庫設置
	30.	3.	16	プール伸縮屋根張替工事完成
令和	元	7.	28~29	関東甲越地区肢体不自由特別支援学校PTA連合会総会及びPTAの校長会合同研究協議会山梨大会を開催（あけぼの支援学校が主管校）

- 元 11. 20 甲府支援学校公開研究会を開催
- 2. 7. 31 ふれあいホール手洗い洗面台設置工事完成
- 4. 2. 10 南館トイレ改修工事完成
- 5. 7. 31~ 関東甲越地区肢体不自由教育研究協議会山梨大会を開催（Web 開催）
- 6. 4. 1 高等部に病弱部門（単一障害）設置
- 6. 11. 28 創立60周年記念式典挙行
- 6. 12. 4 創立60周年記念音楽集会開催

(2) 歴代校長

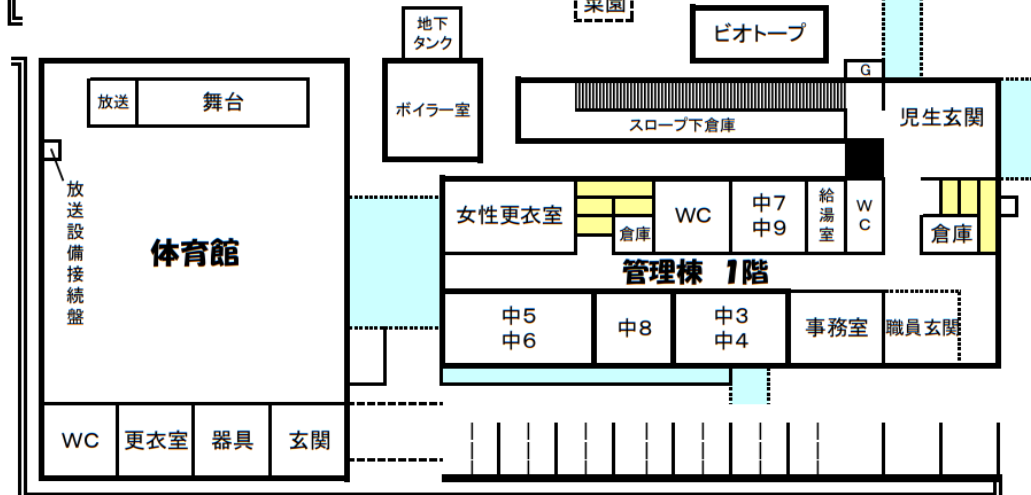
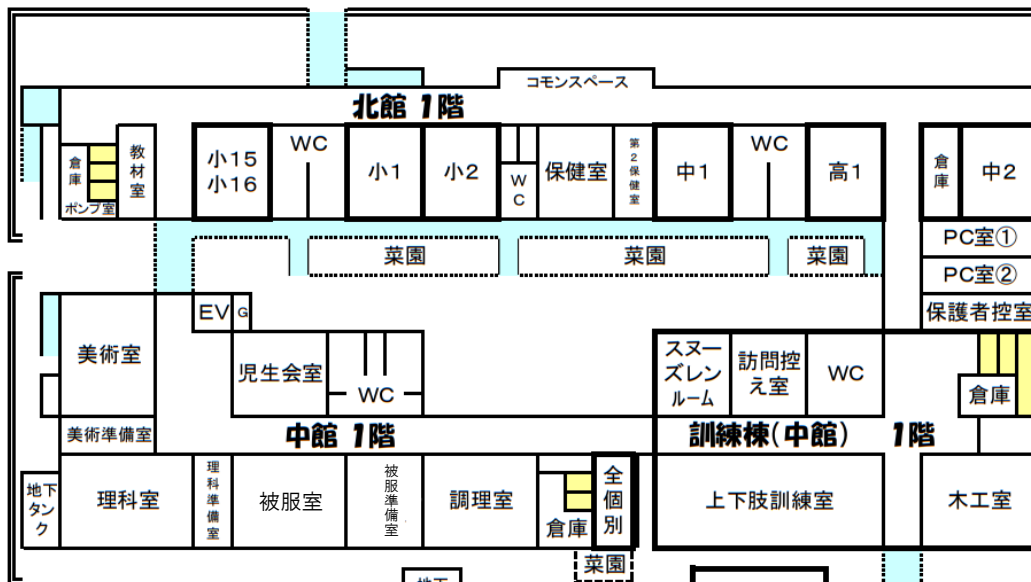
代	氏 名	就 任 年 月 日	退 任 年 月 日
初 代	石 川 武	昭和38年4月1日	昭和40年3月31日
2 代	佐々木 勇	昭和40年4月1日	昭和42年3月31日
3 代	舟久保 喜 蔵	昭和42年4月1日	昭和46年3月31日
4 代	長 沢 富 三	昭和46年4月1日	昭和49年3月31日
5 代	狩 野 敏 男	昭和49年4月1日	昭和52年3月31日
6 代	曾 谷 尚 郎	昭和52年4月1日	昭和55年3月31日
7 代	石 川 甚 二	昭和55年4月1日	昭和58年3月31日
8 代	富 田 佳 行	昭和58年4月1日	昭和59年3月31日
9 代	平 賀 三 郎	昭和59年4月1日	昭和61年3月31日
10 代	遠 藤 文 康	昭和61年4月1日	平成 元年3月31日
11 代	鈴 木 巖	平成 元年4月1日	平成 3年3月31日
12 代	小 林 史 朗	平成 3年4月1日	平成 5年3月31日
13 代	祢 津 忠 春	平成 5年4月1日	平成 7年3月31日
14 代	沼 上 順 治	平成 7年4月1日	平成10年3月31日
15 代	依 田 公 彦	平成10年4月1日	平成12年3月31日
16 代	千 野 恒 朗	平成12年4月1日	平成14年3月31日
17 代	望 月 秀	平成14年4月1日	平成16年3月31日
18 代	大 沢 正	平成16年4月1日	平成18年3月31日
19 代	保 坂 満	平成18年4月1日	平成21年3月31日
20 代	橘 田 雅 春	平成21年4月1日	平成23年3月31日
21 代	河 野 一 郎	平成23年4月1日	平成26年3月31日
22 代	井 戸 和 美	平成26年4月1日	平成29年3月31日
23 代	山 本 剛	平成29年4月1日	令和 3年3月31日
24 代	佐 田 弘 和	令和 3年4月1日	令和 5年3月31日
25 代	小 田 切 一 博	令和 5年4月1日	令和 7年3月31日
26 代	相 山 洋 幸	令和 7年4月1日	

3 施 設 概 要

- (1) 土地 15,338.76 m²
- (2) 建物 6,795.40 m²
 - ① 校 舎 3,292.56 m²
 - 屋内運動場 914.00 m²
 - ② 寄 宿 舎 1,790.45 m²
 - ③ 甲養会館 460.09 m²
 - ④ 全天候型開閉可動（電動）式プール 338.30 m²

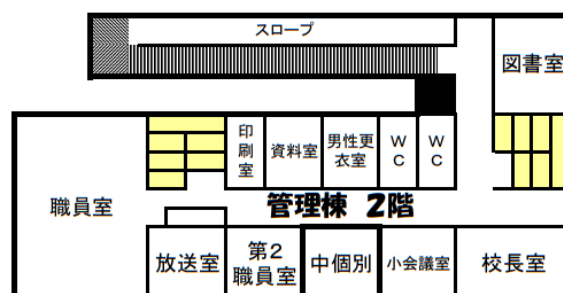
令和7年度教室配置

認可学級



【チャイムが鳴る時間】

日常生活指導・学活・HR	9:00
1 校 時	9:10
2 校 時	10:00
3 校 時	10:50
4 校 時	11:40
給 食	12:30
5 校 時	13:25
6 校 時	14:15
日常生活指導・学活・HR	15:00



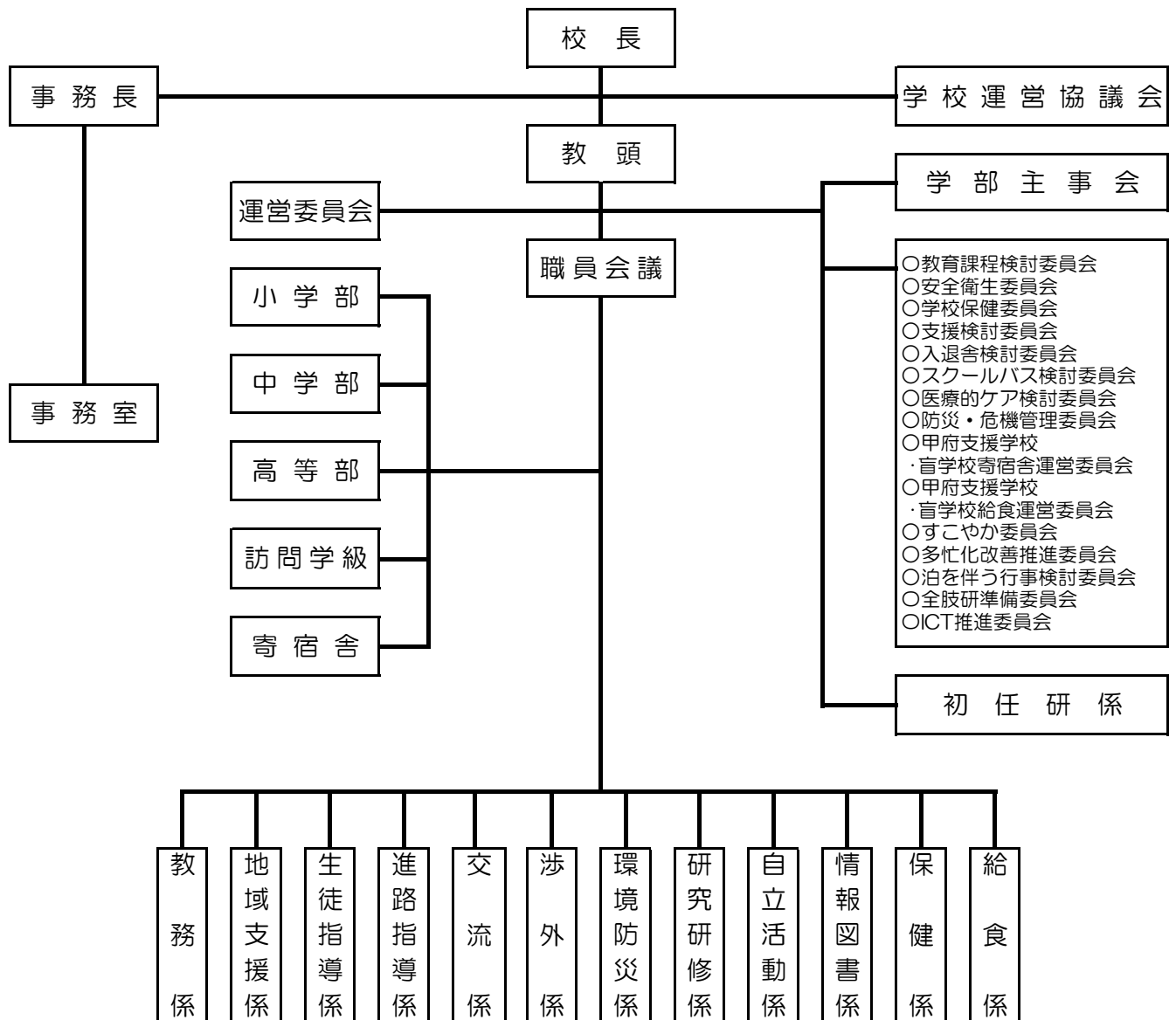
4 学校運営

(1) 職員構成

	校長	教頭	教諭	非常勤講師	養護教諭	実習助手	非常勤看護師	小計	P・T・O・T	寄宿舎指導員	非常勤寄宿舎指導員	小計	事務長	主査・事務次長	主任	主任栄養士	主任業務員	会計年度任用職員	小計	合計
男	1	1	26		1			29	1	6	2	9		1		1		1	3	41
女		1	52	6	1	2	9	71	7	6		13	1		1		1	8	11	95
計	1	2	78	6	2	2	9	99	8	12	2	22	1	1	1	1	1	9	14	136

※非常勤講師には後補充講師を含む

(2) 運営組織





令和7年度 山梨県立甲府支援学校グランドデザイン

学 校 目 標

ひびき合え 心豊かに すこやかに

目指す児童生徒像

(教育目標)

- 健康で心豊かな人
- 自ら感じ、考え、表現する人
- 認め合い、伝え合い、助け合う人
- 自立に向けてあゆむ人

目指す学校像

- 子供も教職員もいきいきと成長する学校
- 安心・安全に過ごせる学校
- 基礎学力が育つ学校
- 夢と希望と感動のもてる学校
- 思いやりの心が育つ学校

目指す教師像

- 情熱のある教師
- 児童生徒を愛する教師
- 健康で明るい教師
- 専門性のある教師
- 新たな学びを実現する教師
- 他者を思いやる教師
- ライフ・ワークバランスをすすめる教師

重点目標

安心安全

- 安心安全な医療的ケアの実施
 - ・教員、学校看護師との協働による学校生活の質を高める医療的ケアの推進
- ・教員による特定行為等の推進
- ・医療的ケア児支援センター等外部機関との連携強化
- ヒヤリハット事例の蓄積と分析による事故の未然防止
 - ・危険予知訓練のさらなる充実
- 安全な摂食指導と歯科医摂食指導の充実
- 非常時対応の充実
 - ・日々の感染症対策と発生時の対応
 - ・災害発生時の避難体制や対応等の再検討

質の高い授業

- 個別最適化の学びの推進
 - ・育成すべき資質能力を明確にした授業づくり
 - ・肢体不自由支援学校教員としての専門性の向上
 - ・病弱生徒に係る専門性の向上と教育課程の検討
- 専門性の高い外部講師・専門家、授業アドバイザーとの連携による授業づくり
 - ・授業支援の実施
 - ・授業相談の実施
- ICTの活用の推進
 - ・授業、行事等での一層の活用と充実
 - ・実態に応じたICTの活用と評価

開かれた学校

- 地域自治会・盲学校との連携による防災体制整備
 - ・洪水時の避難態勢の確認訓練
 - ・近隣の自治会と非常時の受け入れ体制及び福祉避難所の検討
- 交流及び共同学習の充実
 - ・学校間交流、地域交流、居住地校交流の推進
- 保護者・地域等の連携強化及び積極的な効果的な情報発信
 - ・進路や福祉情報の積極的な発信
 - ・学校HPでの情報発信の充実
 - ・学校運営協議会の円滑な実施

教職員の働き方

- ライフ・ワークバランスの推進
 - ・勤務時間や健康管理を意識した教職員の主体的な働き方改革
 - ・ICT等を活用した校務の効率化
- キャリア形成を意識した研修
 - ・教職員一人ひとりのキャリアに応じた主体的な研修の推進
 - ・キャリアプランに応じた新たな教育課題への対応できる人材育成

(2)学 部 目 標 及 び 学 部 指 導 重 点

小 学 部

学 部 目 標	学 部 指 導 重 点
○明るく、すこやかな子	・家庭や医療・福祉機関との連携を図り、健康で安全な学校生活を送るための学習や環境を工夫する。
○自ら周りの人や物にかかわる子	・身近な人やものへの興味・関心を高め、自らかかわろうとする気持ちや感じたこと・考えたことを表現しようとする気持ちを育てる。
○みんなと仲良く活動する子	・友達や教師を意識したり気持ちを向けたりする経験を重ねながら、共に活動する楽しさを味わい、集団参加への基盤を作る。
○自分のできることをふやそうとする子	・基本的な生活習慣を身に付け、様々な活動で経験を増やし、進んで物事に取り組もうとする意欲を培う。

中 学 部

学 部 目 標	学 部 指 導 重 点
○しなやかな心や身体をもつ生徒	・自己の身体への気付きや、身体を動かす喜びを感じる心を育てる。 ・感性豊かに自由に発想・表現する生徒を育てる。
○見通しをもって行動したり、伝えたい気持ちをもって表現したりする生徒	・身近な人や物への興味・関心を高める。 ・1日の生活の流れや活動、将来への見通しをもち、自ら行動する力を育てる。 ・適切なコミュニケーション手段を身に付け、表現する力を高める。
○仲間の中での役割を互いに意識し、認め合える生徒	・集団の中で、役割を果たしたり友達を意識したりすることを通して、互いに助け合う気持ちを育てる。 ・互いの気持ちや行動を大切にし、思いやる心をはぐくむ。
○学校内外での経験を広め、できる力を発揮する生徒	・自分のもっている力を積極的に発揮し、さらに挑戦しようとする意欲を高める。 ・将来を見通す中で、日常生活能力の定着と向上を図る。

高 等 部

学 部 目 標	学 部 指 導 重 点
○健康に留意し、自分を大切にできる生徒	・障害の状態等に応じて環境を整え、健康で安全で活力のある生活のための基礎を培う。 ・心身の健康及び安全に関する知識・理解を深め、生活に生かすことができる力を育てる。 ・適切な運動の経験を通して、健康の増進と体力・運動能力の向上を図る。
○自ら課題を見つけ、考え行動する生徒	・自ら学ぶ態度や習慣を育て、生涯を通じて学び続ける力を養う。 ・個々の興味・関心等を生かし個性や可能性を伸ばす。 ・周囲への興味・関心を高め、働きかけを受け止めたり、自ら働きかけたりする意欲を養う。 ・芸術活動・鑑賞などを通して感動する心を、自然体験学習を通して自然を愛し、自然に親しむ心を育てる。
○人と豊かなかかわりを持ち、他人を思いやることができる生徒	・自分の方法で自分を表現し、わかり合う喜びを通して人とのかかわりを豊かにする。 ・集団生活を通して、他と協調し、他を思いやる心を育てる。
○自己を認識し、自立をしたいという意欲をもつ生徒	・日常生活に必要な生活習慣を身に付けることによって自立的な生活の基盤をはぐくむ。 ・自己の障害と向き合い、自分の良さや個性の発見を通して、明るく強く生きる力を育てる。 ・生活に必要な情報を適切に選択・活用する基礎的な能力や態度を育てる。 ・進路学習を充実させることにより、社会参加への意識を高める。 ・社会生活について理解を深め、主体的・能動的に生き、地域社会で心豊かに生活するための基盤を培う。

訪 問 学 級

学 部 目 標	学 部 指 導 重 点
○すこやかな心と体で、一日一日を大切に過ごす	・家庭及び医療、関係諸機関との連携を図りながら、健康を維持し、喜びが感じられる生活を送ることができるようにする。 ・安全安心を第一に、感染症対策に努め、児童生徒に寄り添い、一回一回の授業を大切にする。
○自分の気持ちを表現する	・身近な人とのかかわりの中で、人とかかわる楽しさを体験しながら、自分の要求や気持ちを伝えようとする意欲や自発的な表現を引き出す。
○人やものに気づいて、活動する	・活動の中で、見たり聞いたり感じたりしながら、自分の身近にあるものを知り、諸感覚を使って受容する力を養う。 ・自分の状況や周囲の状況を感じ取り、変化を受け入れたり、対応したりする力を育てる。
○心地よい経験の中で、自分の好きなことやできることを増やす	・身近な人やものへの興味・関心を高める。 ・様々な活動を通して、周囲の人たちを意識したり、かかわりを受け入れたりする経験を増やし、自分から取り組み力を育てる。

(3)日課

I・IIコース ※

【小学部】

〔 月 〕		
登 校 時 間	8:45~	9:00
日常生活指導	9:00~	9:10
1 校 時	9:10~	9:50
2 校 時	10:00~	10:40
3 校 時	10:50~	11:30
4 校 時	11:40~	12:20
給 食	12:30~	13:00
昼 休 み	13:00~	13:25
下 校 時 刻	13:30	
	14:10	

〔 火～ 金 〕		
登 校 時 間	8:45~	9:00
日常生活指導	9:00~	9:10
1 校 時	9:10~	9:50
2 校 時	10:00~	10:40
3 校 時	10:50~	11:30
4 校 時	11:40~	12:20
給 食	12:30~	13:00
昼 休 み	13:00~	13:25
5 校 時	13:25~	14:05
6 校 時	14:15~	14:55
日常生活指導	14:55~	15:10
下 校 時 刻	14:10	
下 校 時 刻	15:20	

【中学部】

〔 月 〕		
登 校 時 間	8:45~	9:00
日常生活指導	9:00~	9:10
1 校 時	9:10~	9:50
2 校 時	10:00~	10:40
3 校 時	10:50~	11:30
4 校 時	11:40~	12:20
給 食	12:30~	13:00
昼 休 み	13:00~	13:25
5 校 時	13:25~	14:05
日常生活指導	14:05~	14:10
下 校 時 刻	14:10	

〔 火～ 金 〕		
登 校 時 間	8:45~	9:00
日常生活指導	9:00~	9:10
1 校 時	9:10~	9:50
2 校 時	10:00~	10:40
3 校 時	10:50~	11:30
4 校 時	11:40~	12:20
給 食	12:30~	13:00
昼 休 み	13:00~	13:25
5 校 時	13:25~	14:05
6 校 時	14:15~	14:55
日常生活指導	14:55~	15:10
下 校 時 刻	15:20	

【高等部】

〔 月～ 金 〕		
登 校 時 間	8:45~	9:00
日常生活指導	9:00~	9:10
1 校 時	9:10~	9:50
2 校 時	10:00~	10:40
3 校 時	10:50~	11:30
4 校 時	11:40~	12:20
給 食	12:30~	13:00
昼 休 み	13:00~	13:25
5 校 時	13:25~	14:05
6 校 時	14:15~	14:55
日常生活指導	14:55~	15:10
下 校 時 刻	15:20	

※「I・IIコース」についてはP12を参照

Ⅲ・Ⅳコース ※

【小学部】

〔 月 〕			
登 校 時 間	8:45~	9:00	
日常生活指導	9:00~	9:10	
1 校 時	9:10~	9:55	
2 校 時	10:00~	10:45	
3 校 時	10:50~	11:35	
4 校 時	11:40~	12:25	
給 食	12:30~	13:00	
昼 休 み	13:00~	13:25	
下 校 時 刻	13:30		
	14:10		

〔 火～ 金 〕			
登 校 時 間	8:45~	9:00	
日常生活指導	9:00~	9:10	
1 校 時	9:10~	9:55	
2 校 時	10:00~	10:45	
3 校 時	10:50~	11:35	
4 校 時	11:40~	12:25	
給 食	12:30~	13:00	
昼 休 み	13:00~	13:25	
5 校 時	13:25~	14:10	
6 校 時	14:15~	15:00	
日常生活指導	15:00~	15:10	
下 校 時 刻	14:10		
	15:20		

【中学部】

〔 月 〕			
登 校 時 間	8:45~	9:00	
日常生活指導	9:00~	9:10	
1 校 時	9:10~	9:55	
2 校 時	10:00~	10:45	
3 校 時	10:50~	11:35	
4 校 時	11:40~	12:25	
給 食	12:30~	13:00	
昼 休 み	13:00~	13:25	
5 校 時	13:25~	14:10	
下 校 時 刻	14:10		

〔 火～ 金 〕			
登 校 時 間	8:45~	9:00	
日常生活指導	9:00~	9:10	
1 校 時	9:10~	9:55	
2 校 時	10:00~	10:45	
3 校 時	10:50~	11:35	
4 校 時	11:40~	12:25	
給 食	12:30~	13:00	
昼 休 み	13:00~	13:25	
5 校 時	13:25~	14:10	
6 校 時	14:15~	15:00	
日常生活指導	15:00~	15:10	
下 校 時 刻	15:20		

【高等部】

〔 月 ～ 金 〕			
登 校 時 間	8:45~	9:00	
日常生活指導	9:00~	9:10	
1 校 時	9:10~	9:55	
2 校 時	10:00~	10:45	
3 校 時	10:50~	11:35	
4 校 時	11:40~	12:25	
給 食	12:30~	13:00	
昼 休 み	13:00~	13:25	
5 校 時	13:25~	14:10	
6 校 時	14:15~	15:00	
日常生活指導	15:00~	15:10	
下 校 時 刻	15:20		

※「Ⅲ・Ⅳコース」についてはP12を参照

6 各学部の状況

(1) 学年別児童生徒数一覧

区分		学部 学年	小学部							中学部				高等部				総計
			1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計	
学級数	単一				1			1	2			1	1	1	2	1	4	7
	重複								12				7				5	25
	訪問教育								3				1				2	6
	計								17				9				11	37
児童生徒数	単一				2			1	3			2	2	2	4	1	7	12
	重複		5	4	6	4	7	10	36	6	5	9	20	5	5	4	14	70
	訪問教育		1	1	2	3	1		8		2		2	2	2	2	6	16
	計		6	5	10	7	8	11	47	6	7	11	24	9	11	7	27	98

(2) コース編成

I コース：自立活動を主に指導するコース

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> — 自立活動 — 特別の教科 道徳 — 総合的な学習（探究）の時間 — 特別活動 | <ul style="list-style-type: none"> — 自立活動 — 知的教科（一部） — 特別の教科 道徳 — 総合的な学習（探究）の時間 — 特別活動 |
|---|---|

II コース：知的代替の教育課程のコース

- 各教科（知的各教科）
- 外国語（中学部）
- 特別の教科 道徳
- 各教科等を合わせた指導
- 総合的な学習（探究）の時間（中学部・高等部）
- 特別活動
- 自立活動

III コース：下学年適用（3学年まで）のコース

- 各教科（高等部にあつては各教科に属する科目）
- 外国語活動（小学部3・4年）
- 特別の教科 道徳（小学部・中学部）
- 総合的な学習（探究）の時間
- 特別活動
- 自立活動

IV コース：準ずる教育のコース

※ 各教科に準ずる内容で、IIIコースと同様の項目の学習を行う。

(3)教育課程

※ここでは各学部の代表的な教育課程を掲載する。

① Iコース 1単位時間40分

小学部（例 第3学年）

教科領域	週時数
自 立 活 動	26
特別の教科 道徳	1
特 別 活 動	1
合 計	28

中学部

教科領域	週時数
自 立 活 動	25
特別の教科 道徳	1
総合的な学習の時間	2
特 別 活 動	1
合 計	29

高等部

教科領域	週時数
自 立 活 動	26
特別の教科 道徳	1
総合的な探究の時間	2
特 別 活 動	1
合 計	30

② IIコース 1単位時間40分

小学部（例 第6学年）

教科領域	週時数
生 活	2
国 語	4
算 数	3
音 楽	2
図画工作	2
体 育	2
特別の教科 道徳	1
日常生活の指導	5
特別活動	1
自立活動	7
合 計	29

中学部

教科領域	週時数
国 語	3
数 学	3
音 楽	2
美 術	2
保健体育	2
職業	2
外国語	2
生活単元学習	2
日常生活の指導	5
特別の教科 道徳	1
総合的な学習の時間	2
特別活動	1
自立活動	2
合 計	29

高等部

教科領域	週時数
国 語	4
数 学	3
音 楽	2
美 術	2
保健体育	2
職 業	3
情 報	1
生活単元学習	2
日常生活の指導	5
特別の教科 道徳	1
総合的な探究の時間	2
特別活動	1
自立活動	2
合 計	30

③ Ⅲ・Ⅳコース 1単位時間45分

小学部

教科・領域等	1年	2年	3年	4年	5年	6年
国語	8	9	7	7	5	5
社会			2	3	3	3
算数	5	6	5	5	5	5
理科			3	3	3	3
生活	3	3				
音楽	2	1	1	1	1	1
図画工作	2	2	2	2	2	2
家庭					2	2
体育	1	1	1	1	1	1
外国語					1	1
道徳科	1	1	1	1	1	1
外国語活動			1	1		
総合的な学習の時間			2	2	2	2
特別活動	1	1	1	1	1	1
自立活動	2	2	2	2	2	2
合 計	25	26	28	29	29	29

中学部

教科・領域等	1年	2年	3年Ⅲ	3年Ⅳ
国語	3	3	3	3
社会	2	2	3	4
数学	3	3	3	4
理科	2	2	3	4
音楽	1	1	1	1
美術	2	2	2	1
保健体育	2	2	2	2
技術・家庭	2	2	1	1
外国語	4	4	3	4
道徳科	1	1	1	1
総合的な学習の時間	2	2	2	2
特別活動	1	1	1	1
自立活動	4	4	4	1
合 計	29	29	29	29

高等部

教科・科目・領域など		1年	2年	3年	卒業までの 合計単位数
国 語	現代の国語	2			2
	言語文化	2			2
	論理国語		┌ 2	┌ 2	┌ 4
	文学国語		└ 2	└ 2	└ 4
	国語表現		┌ 2	┌ 2	┌ 4
	古典探究		└ 2	└ 2	└ 4
			※2科目	※2科目	※12単位
地理歴史	地理総合		2		2
	地理探究				
	歴史総合	2			2
	日本史探究				
	世界史探究				
公 民	公共			2	2
	倫理				
	政治・経済				
数 学	数学Ⅰ	3			3
	数学Ⅱ				
	数学Ⅲ			4	4
	数学A		4		4
	数学B				
	数学C				
理 科	科学と人間生活	2			2
	物理基礎		┌ 2	┌ 2	┌ 2
	物理		└ 2	└ 2	└ 4
	化学基礎		┌ 2	┌ 2	┌ 2
	化学		└ 2	└ 2	└ 4
	生物基礎		┌ 2	┌ 2	┌ 2
	生物		└ 2	└ 2	└ 4
	地学基礎		┌ 2	┌ 2	┌ 2
	地学		└ 2	└ 2	└ 4
			※2科目	※4単位	※10単位
保健体育	体育	2	2	3	7
	保健	1	1		2
芸 術	音楽Ⅰ	┌ 2			┌ 2
	音楽Ⅱ	└ 2	┌ 2		└ 2
	音楽Ⅲ		└ 2	┌ 2	└ 2
	美術Ⅰ	┌ 2		┌ 2	┌ 2
	美術Ⅱ	└ 2	┌ 2	└ 2	└ 2
	美術Ⅲ		└ 2	┌ 2	└ 2
					※6単位
英 語	英語コミュニケーションⅠ	4			4
	英語コミュニケーションⅡ		4		4
	英語コミュニケーションⅢ				
	論理・表現Ⅰ			4	4
	論理・表現Ⅱ				
	論理表現Ⅲ				
家 庭	家庭基礎	2			2
	家庭総合				
情 報	情報Ⅰ	1	1	1	3
	情報Ⅱ				
学校設定 科目(キャリア)	産業社会と人間	0	2	2	4
			※自立との選択	※自立との選択	
	自立活動	4	1	1	6
	総合的な探究の時間	2	2	2	6
学校外の 学修					
特別活動	ホームルーム活動	1	1	1	3
合 計 単 位 数		30	30	30	90

(4) 学級編成及び児童生徒数（通学）

小学部

学 級			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	計	
			重 複 障 害												単一障害			
学 年	1	男			3												3	
		女				2											2	
	2	男					2										2	
		女				1	1										2	
	3	男	2						1							2	5	
		女							3								3	
	4	男								2							2	
		女								2							2	
	5	男									1	2	2				5	
		女	1									1					2	
	6	男			2								1	1	2		1	7
		女			1									2	1			4
計			3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	1	39	

中学部

学 級			1	2	3	4	5	6	7	8	計
			重 複 障 害							単一障害	
学 年	1	男			1	1					2
		女		1	2	1					4
	2	男	1				1	1			3
		女				1	1				2
	3	男		1				1	1	2	5
		女	2	1			1	1	1		6
計			3	3	3	3	3	3	2	2	22

高等部

学 級			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計
			重 複 障 害					単一障害					
学 年	1	男	1	1				1	1				4
		女	1	2									3
	2	男			1	1							2
		女	1		2					2	2		7
	3	男				2	2					1	5
		女											0
計			3	3	3	3	2	1	1	2	2	1	21

(5) 訪問学級

① 特 性

訪問教育は、心身の障害のため通学して教育を受けることが困難な児童生徒に対する教育措置であって、特別支援学校等における教育の一形態である（学校教育法施行規則第 131 条第 1 項）

② 沿 革

昭和54年4月1日 養護学校義務制施行、本校訪問教育開始、初年度教頭と教諭3名、講師8名配置

平成10年4月1日 高等部訪問教育の試行開始

平成12年4月1日 高等部訪問教育の完全実施（平成元年度以降の中学部訪問教育卒業生の受け入れを開始）

③ 担当教員並びに児童生徒数の推移

年度	教員 (人)	学部 学年 訪問先	小 学 部							中 学 部				高 等 部				合計
			1	2	3	4	5	6	計	1	2	3	計	1	2	3	計	
R3	6	家 庭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		病 院	1	0	0	1	2	2	6	0	1	2	3	0	3	0	3	12
		合 計	1	0	0	1	2	2	6	0	1	2	3	0	3	0	3	12
R4	6	家 庭	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
		病 院	2	1	0	0	1	1	5	2	0	1	3	2	0	3	5	13
		合 計	4	1	0	0	1	1	7	2	0	1	3	2	0	3	5	15
R5	7	家 庭	3	2	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	5
		病 院	0	2	1	0	0	1	4	0	2	0	2	1	2	0	3	9
		合 計	3	4	1	0	0	1	9	0	2	0	2	1	2	0	3	14
R6	7	家 庭	0	1	2	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
		病 院	1	1	2	1	0	0	5	1	0	2	3	1	1	2	4	12
		合 計	1	2	4	1	0	0	8	1	0	2	3	1	1	2	4	15
R7	7	家 庭	1	0	1	1	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
		病 院	0	1	1	2	1	0	5	0	2	0	2	2	2	2	6	13
		合 計	1	1	2	3	1	0	8	0	2	0	2	2	2	2	6	16

※病院—独立行政法人国立病院機構甲府病院

- ④ 指導方針
訪問教育の特性を踏まえ、家庭、医療・福祉機関と密接な連携をもつことを基本に、障害の状態
発達段階及び特性を十分に考慮し、小・中・高と一貫性のある教育課程を編成することによって、
「生きる力」をはぐくむ。
- ⑤ 教育課程
- 児童生徒一人ひとりに対し、その障害の状態、発達段階及び特性を考慮して教育課程を編成し、実施する。
 - 各教科等の授業は、在宅の小学部児童については、週当たり8単位時間（週3日、1回120分、1単位時間45分、または、週4日、1回90分、1単位時間45分）、中・高等部生徒は、週当たり8単位時間（週4日、1回100分、1単位時間50分）を標準とする。
 - 甲府病院内児童生徒については、週当たり8単位時間（週4日、1回90分、1単位時間45分）を実施する。
 - 在宅、病院訪問授業のいずれの場合も、年間35週以上実施する。

小・中学部Ⅰコース

教科領域	週時数
自 立 活 動	6
道 徳 科	1
特 別 活 動	1
合 計	8

高等部Ⅰコース

教科領域	週時数
自 立 活 動	6
道 徳 科	1
特 別 活 動	1
合 計	8

小学部Ⅱコース

教科領域	週時数
自 立 活 動 国語、算数、音 楽、 図画工作	6（※）
道 徳 科	1
特 別 活 動	1
合 計	8

中学部・高等部Ⅱコース

教科領域	週時数
自 立 活 動 国語、数学、音 楽、 美術	6（※）
道 徳 科	1
特 別 活 動	1
合 計	8

※ 児童生徒一人一人の実態に応じて、設定する。

⑥ 年間行事予定

4月 8日	学校始業式・入学式
4月15日	甲府病院入学式
6月 4日	在宅のつどい
7月 8日	夏のつどい
10月 8日	在宅のつどい
10月21日	秋のつどい
10月29日	卒業学年まとめの学習
11月12日	甲養祭
2月10日	訪問学級集会「卒業生を送る会」
3月13日	卒業証書授与式（オンライン参加）
3月19日	甲府病院修了式
3月25日	学校修了式

7 児 童 生 徒 の 概 況

(1) 病類別児童生徒数

病 類	脳 性 疾 患								二分脊椎症	先天性心臓疾患	精神運動発達遅滞	染色体異常	その他	計
	脳性まひ	水頭症	てんかん	急性脳症後遺症	髄膜炎後遺症	低酸素性脳症後遺症	脳室周囲白質軟化症	その他						
小 学 部	3	2	3	3	0	3	4	4	1	0	0	8	8	39
中 学 部	8	2	2	2	0	0	0	0	0	1	1	5	1	22
高 等 部	2	1	3	2	1	0	1	1	1	1	2	0	6	21
訪 問	2	0	0	0	0	2	0	6	0	1	0	2	3	16
計	13	5	8	7	1	3	5	5	2	2	3	13	15	98

(2) 居住地又は出身地別児童生徒数

居住地又は出身地	甲府市	甲州市	山梨市	笛吹市	甲斐市	中央市	上野原市	中巨摩	西八代	南巨摩	富士吉田市	南アルプス市	県外	計
通 学	36	8	6	6	12	10	0	3	1	0	0	0	0	82
訪 問	3	0	1	1	0	3	1	0	1	0	2	1	3	16
計	39	8	7	7	12	13	1	3	2	0	2	1	3	98

(3) 児童生徒身辺自立状況

	観 点	小学部	中学部	高等部	訪問学級	合 計
食 事	経管・口腔ネラトン	9	3	1	15	28
	全部食べさせてもらう	17	8	4	1	30
	手を添えれば食べることができる	3	4	2	0	9
	半分くらいの介助で一人で何とか食べることができる	4	2	1	0	7
	少し配慮をすると一人で食べることができる	4	4	3	0	11
	一人で全部食べることができる	4	1	10	0	15
排 尿	一人でできない（サインが出ない）	22	13	9	16	60
	サインで知らせることができる	3	1	0	0	4
	ズボンを下ろしたり、拭いたりできないが、排尿排便ができる	7	3	2	0	12
	ズボンを下ろしたり、拭いたりするとき、一部介助を要する	5	5	1	0	11
	一人できちんとできる	2	0	9	0	11
着 脱	一人でできない	21	15	8	14	58
	着せてもらいやすいように身体を動かす	13	1	2	2	18
	少し手伝えばできる	0	3	1	0	4
	ボタン、ファスナー等のないものは一人でできる	5	3	1	0	9
	一人できちんとできる	0	0	9	0	9
移 動	全く移動できない	12	5	3	12	32
	寝返りがうてる	7	4	2	3	16
	腹這いあるいは背這いができる	3	3	2	0	8
	四つ這い（いざり・膝立ち歩き）ができる	5	2	0	1	8
	つかまり歩き、支え歩きができる	3	2	5	0	10
	独歩ができる	9	6	9	0	24
対 人 関 係	反応がないように見える	1	5	0	8	14
	人に注意を向ける	4	1	0	1	6
	人の働きかけに反応することがある	14	3	4	5	26
	人に向かって働きかける	4	6	6	0	16
	人の働きかけに対応できる	16	7	11	2	36
言 語 受 容	言語が理解できているかわからない	17	9	0	14	40
	特定の単語がわかる	7	2	7	0	16
	簡単な指示がわかる	4	5	3	1	13
	身近な会話がわかる	5	3	0	1	9
	日常会話が理解できる	6	3	11	0	20
言 語 表 出	発声がない（発声があっても無意図的）	21	8	2	15	46
	意図的な発声はあるが単語にならない	11	10	7	1	29
	簡単な単語が言える	1	0	1	0	2
	簡単な文が言える	0	0	0	0	0
	日常会話ができる	6	4	11	0	21
車 い す ・ 歩 行 器 ・ 杖 使 用 者 数		36	13	15	16	80
在 籍 者 数		39	22	21	16	98

(4) 卒業生の動向（高等部訪問学級卒業生を含む）

年度	進路先 性別	住まいの場		計	日 中 活 動 の 場											進 学（大学・各種学校）	計
		施設入所支援（夜間）	共同生活援助		療養介護	生活介護	自立訓練（機能訓練）	自立訓練（生活訓練）	就労移行支援	就労継続支援A型	就労継続支援B型	地域活動支援センター	一般就労	特例子会社	在宅		
令和1	男	1		1	1	1											2
	女	1		1	1	1											2
令和2	男					2					1						3
	女					1											1
令和3	男				1	2										1	4
	女					4											4
令和4	男				1	3			1							1	6
	女				2	3									1		6
令和5	男					2											2
	女					3											3
令和6	男				1	2											3
	女				1	4											5
令和6年度小計					2	6											8
令和1年度から令和6年度までの合計		2	0	2	6	34	0	0	1	0	1	0	0	0	1	2	49

8 寄 宿 舎

(1) 目標と努力点

目 標

- ・集団生活の場として温かい人間関係の中で、主体的な生活態度の育成を図る。
- ・豊かな心情、協調の心、自立心を育てる。

努 力 点

- ・個々の舎生に応じた支援、指導を行う。
- ・基本的な生活習慣を身につけ、自立を意識できるように働きかける。
- ・生活や行事に興味や関心を持って活動できるようにする。
- ・健康な生活が送れるよう、学校、家庭と連携を図る。

(2) 日課表

日 課	時 間	備 考
起床・身支度・洗面 朝食準備	6:30~7:30	朝食 再調理 7:00~
朝食・片付け 歯磨き・登校準備 登 校	7:30~8:15 8:15~8:40 8:45~	
下 校 自由時間	13:30~15:20 13:30~16:30	
{ 休 息 活 動 宿 題 など		
夕食準備 夕食・片付け 歯磨き	16:30~17:00 17:00~17:45 17:45~18:00	夕食 再調理 16:20~
自由時間・入 浴	18:00~	
就寝準備・就寝	20:30~22:00	

(3) 入舎児童生徒一覧

学部 入舎 形態	小学部			中学部			高等部			合 計			
	全泊	曜日泊	放課後	全泊	曜日泊	放課後	全泊	曜日泊	放課後	全泊	曜日泊	放課後	小計
男子	0	1	2	0	4	0	0	6	1	0	11	2	13
女子	0	2	0	0	2	1	0	4	0	0	8	1	9
合計	0	3	2	0	6	1	0	10	1	0	19	3	22

(4) 居住地又は出身地別児童生徒数

	甲斐市	中央市	西八代郡	甲府市	昭和町	笛吹市	山梨市	甲州市	その他	小計
小学部	2	1	0	1	0	0	1	0	0	5
中学部	3	0	0	2	0	0	1	1	0	7
高等部	1	1	0	4	1	0	1	2	0	10
合計	6	2	0	7	1	0	3	3	0	22

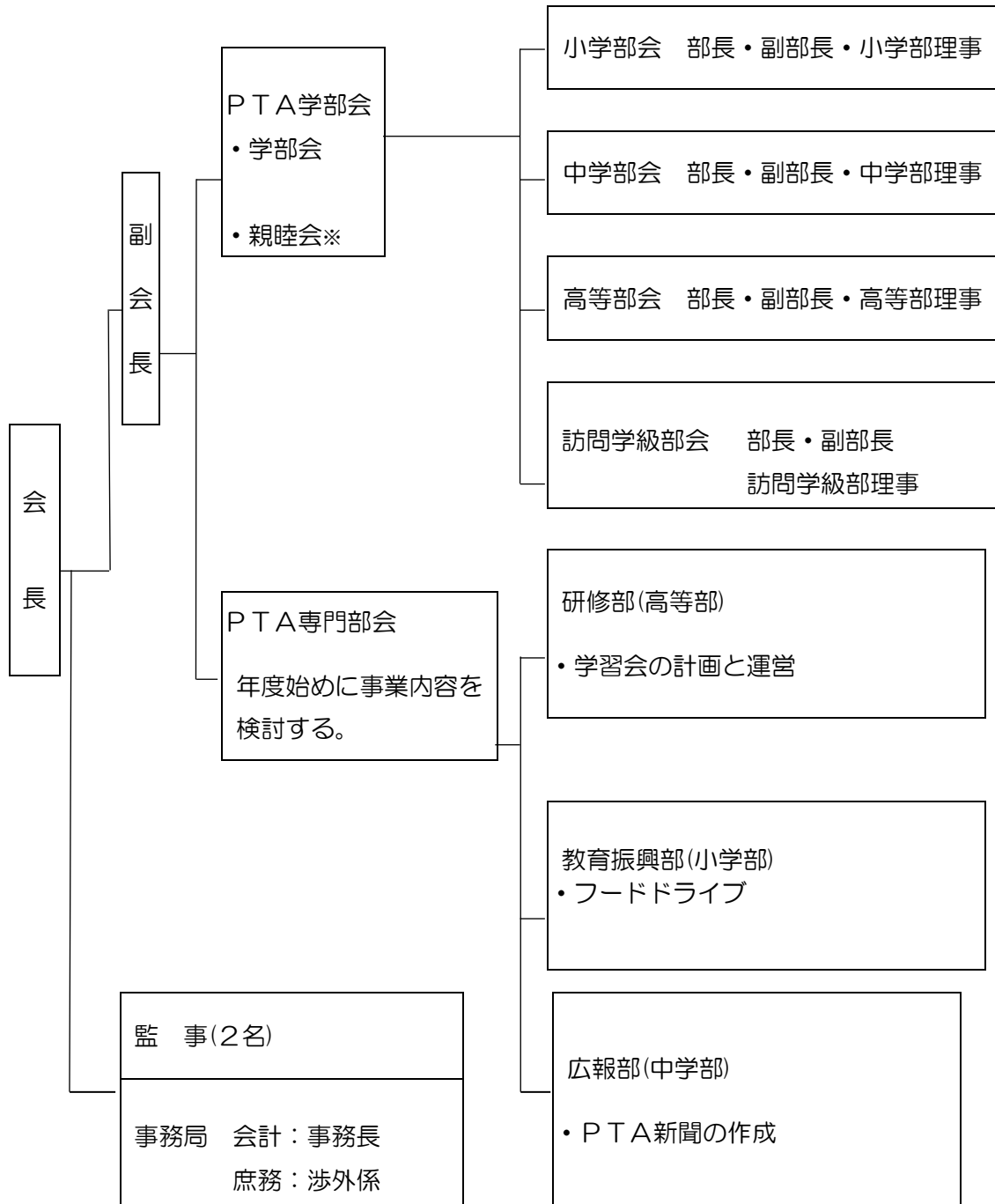
(5) 舎生会のねらい及び年間行事予定

ねらい 活動を通して生活を豊かにし、お互いに協力しながら主体的に取り組む力を育てる。

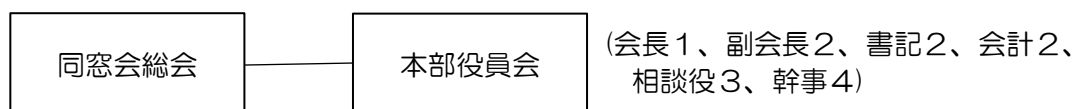
	月 日	内 容	交 流
前 期	4月10日(木) ～23日(水) 7月 4日(金)	新入舎生歓迎週間 夏祭り	* 夏祭り (池田地区シニアクラブ) 案内状配布・ポスター掲示
後 期	11月12日(水) ～14日(金) 12月12日(金) 1月19日(月) 3月 6日(金)	甲養祭 寄宿舍の展示 クリスマス会 新年お楽しみ会 お別れ会	
随 時	・曜日グループ活動 ・おはなしの会(ききみみずきん)		・お誕生会 ・季節行事
〈備考〉 ・曜日リーダーが中心となり各行事の内容等を計画し、舎生みんなで協力して準備・実施する。 ・取り組みは、負担や時間をかけずにできる程度とする。			

9 P T A及び同窓会の運営組織

(1) P T A



(2) 同窓会



10 年間行事予定

山梨県立甲府支援学校

	4月		5月		6月	
1	火		木		日	
2	水		金	繰り替え休業日	月	
3	木		土	憲法記念日	火	給食試食会
4	金		日	みどりの日	水	
5	土		月	こどもの日	木	
6	日		火	振替休日	金	春季産業現場等における実習出発式 第1回避難訓練・引き渡し訓練
7	月		水	高等部PTA保護者会	土	同窓会役員会
8	火	始業式(AM)入学式(PM)11:45下校(在校生) スクールバス保護者説明会 医療的ケア保護者説明会	木	中学部新入生歓迎会 高等部新入生歓迎会	日	
9	水	スクールバス運行開始 11:45下校	金	中学部PTA保護者会 中学部修学旅行説明会(東京方面)	月	春季産業現場等における実習(～20日まで) 春季寄宿舎体験(～20日まで) 中学部修学旅行説明会(静岡方面)
10	木	給食開始	土		火	
11	金	平常授業開始	日		水	
12	土		月		木	中学部修学旅行事前校外学習(2年) 第1回学校運営協議会
13	日		火		金	
14	月		水	訪問学級PTA保護者会	土	
15	火	訪問学級入学式(甲府病院) PTA新旧役員会	木		日	
16	水		金		月	
17	木	小1給食開始 小学部PTA保護者会	土		火	オープンスクール
18	金		日		水	
19	土		月		木	
20	日		火		金	
21	月		水		土	
22	火		木	児童生徒総会	日	
23	水		金		月	プール使用開始
24	木	小学部新入生歓迎会	土		火	
25	金		日		水	PTA専門部会 PTA新聞編集会議 アードドライブ
26	土		月		木	
27	日		火		金	春季産業現場等における実習報告会
28	月		水		土	
29	火	昭和の日 登校日 11:45下校 PTA総会 PTA進路対策協議会 寄宿舎保護者会総会	木		日	
30	水		金		月	
31			土			

10 年間行事予定

山梨県立甲府支援学校

	7月		8月		9月	
1	火		金		月	平常授業開始
2	水		土		火	
3	木	保護者事業所見学①	日		水	
4	金	PTA親睦会 寄宿舎夏まつり	月		木	
5	土		火		金	
6	日		水		土	
7	月	授業参観週間(～11日まで) 高等部進路個別懇談(～11日まで)	木		日	
8	火	訪問学級夏のつどい	金		月	
9	水	児生会集会	土		火	
10	木	中学部修学旅行(東京方面)	日		水	
11	金	中学部修学旅行(東京方面)	月	山の日	木	高等部修学旅行
12	土		火		金	高等部修学旅行
13	日		水	学校閉庁日	土	
14	月		木	学校閉庁日	日	
15	火		金	学校閉庁日	月	敬老の日
16	水	中学部学部集会	土		火	
17	木	小学部なかよし集会 保護者事業所見学②	日		水	中学部修学旅行(静岡方面)
18	金	高等部学部集会 11:45下校	月		木	中学部修学旅行(静岡方面)
19	土		火		金	小学部5年生体験学習
20	日		水		土	
21	月	海の日	木		日	
22	火	夏季休業開始(～8月26日まで)	金		月	
23	水		土		火	秋分の日
24	木		日		水	個別懇談 13:30下校
25	金		月		木	PTA学習会 個別懇談 13:30下校
26	土	同窓会総会	火		金	前期終業式 13:30下校 秋季産業現場等における実習出発式
27	日		水	11:45下校 中学部学部集会 高等部学部集会	土	
28	月		木	小学部なかよし集会 13:30下校	日	
29	火		金	13:30下校	月	後期始業 秋季産業現場等における実習(～10日まで) 秋季寄宿舎体験(～10日)
30	水		土		火	
31	木	高等部2年生市町村別進路相談会 (～8月8日まで)	日			

10 年間行事予定

山梨県立甲府支援学校

	10月		11月		12月	
1	水		土		月	高等部3年生移行支援会議(～12日まで)
2	木		日		火	創立記念日のため休業
3	金		月	文化の日	水	
4	土		火		木	
5	日		水		金	
6	月		木	訪問学級授業参観週間(～12日まで)	土	
7	火		金		日	
8	水		土		月	授業参観週間(～12日まで) 個別懇談(小6年) 個別懇談(中3年)
9	木	小学部修学旅行 第2回学校運営協議会	日		火	個別懇談(小6年) 個別懇談(中3年)
10	金	小学部修学旅行	月		水	個別懇談(小6年) 個別懇談(中3年)
11	土		火		木	
12	日		水	甲養祭閉祭式	金	給食感謝の集い 寄宿舎クリスマス会
13	月	スポーツの日	木	甲養祭閉祭式	土	
14	火		金	甲養祭保護者観覧日	日	
15	水		土		月	
16	木	第2回避難訓練	日		火	
17	金	秋季産業現場等における実習報告会	月		水	
18	土		火		木	中学部学部集会
19	日		水		金	中学部PTA学部保護者会
20	月		木	県民の日	土	
21	火	訪問学級秋のつどい	金	高等部入学者選抜説明会	日	
22	水		土		月	
23	木		日	勤労感謝の日	火	小学部なかよし集会
24	金		月	振替休日	水	高等部学部集会 11:45下校
25	土	特別支援学校スポーツ大会	火	高等部2年生進路懇談週間(～28日まで)	木	冬季休業開始(～1月9日まで)
26	日		水		金	
27	月	高等部2年生進路懇談週間(～31日まで)	木		土	
28	火		金		日	
29	水		土			
30	木		日			
31	金					

10 年間行事予定

山梨県立甲府支援学校

	1月		2月		3月	
1	木	元旦	日		日	
2	金		月	小学部新入生保護者説明会	月	
3	土		火		火	
4	日		水		水	13:30下校
5	月		木		木	高等部入学者選抜のため休業
6	火		金	中学部入学説明会	金	高等部修学旅行事前校外学習 寄宿舎おわかれ会
7	水		土		土	
8	木		日		日	
9	金		月		月	スクールバス感謝の集い 13:30下校
10	土		火	訪問学級卒業生を送る会 第2回PTA理事会 PTA新聞編集会議	火	13:30下校
11	日		水	建国記念の日	水	13:30下校
12	月	成人の日	木	13:30下校 第3回学校運営協議会	木	PTA記念品贈呈式 同窓会入会式 合格発表 高等部入学説明会 13:30下校
13	火	中学部学部集会 高等部学部集会 11:45下校	金	13:30下校	金	卒業式 11:45下校
14	水	平常授業開始 小学部なかよし集会	土		土	
15	木		日		日	
16	金	小学部PTA学部保護者会 フードドライブ	月		月	
17	土		火		火	個別懇談 13:30下校
18	日		水		水	個別懇談 13:30下校
19	月	高等部PTA学部保護者会 PTA新聞編集会議 寄宿舎新年おたのしみ会	木	小学部6年生を送る会 中学部卒業生を送る会	木	訪問学級修了式(甲府病院)
20	火		金	高等部卒業生を送る会	金	春分の日
21	水		土		土	
22	木		日		日	
23	金		月	天皇誕生日	月	
24	土		火		火	
25	日		水		水	修了式 離任式 11:45下校
26	月	訪問学級入学生保護者説明会	木		木	学年末休業開始
27	火		金	児童生徒会総会	金	
28	水	児童生徒会役員選挙 PTA新聞編集会議	土		土	
29	木				日	
30	金				月	
31	土				火	

交通案内

電車

○JR 東日本 中央本線 甲府駅下車

OJR 東海 身延線 甲府駅下車

バス

○甲府駅バスターミナル「4番のりば」より

○山梨交通バスにて

☆長塚行き（83番）

☆長塚經由敷島営業所行き（57番、76番、90番、98番）

☆長塚経由双葉ニュータウン行き（25番）

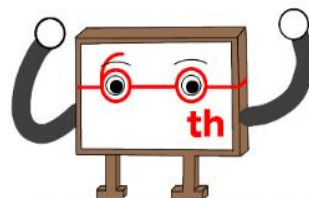
「長松寺町」バス停下車 徒歩8分

車

中央自動車道甲府昭和インターチェンジを竜王方面においてアルプス通りを北進し、甲府西高入り口交差点または新荒川橋西詰め交差点を左折



60周年記念マスコットキャラクター



ANNIVERSARY

『ハッピーボード』

60周年を記念して、全校の皆さんから募集した作品の中から、素敵なマスコットキャラクターが誕生しました。

